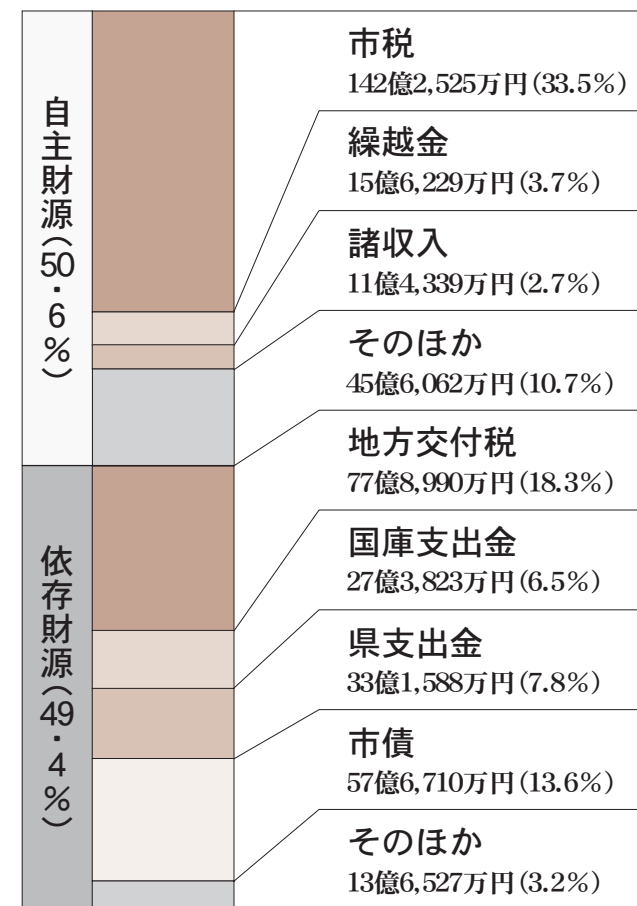




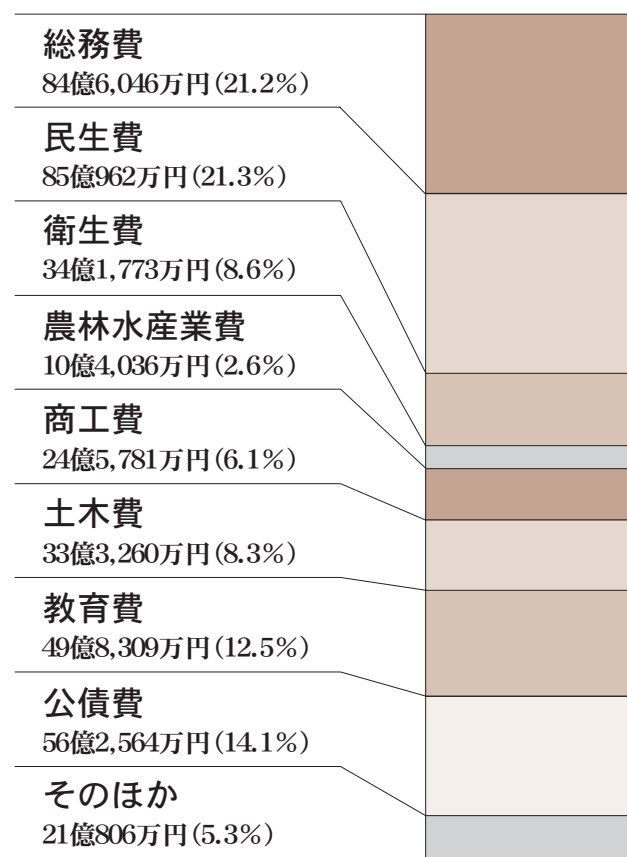
平成18年度 決算報告

9月に開催された市議会において、平成18年度の一般会計と特別会計(10会計)、水道事業会計、リフト事業会計の合わせて13会計の決算が承認されました。今回は、その内容についてお知らせします。

一般会計 歳入 424億6,793万円



一般会計 歳出 399億3,537万円



使われたお金を市民1人あたりに分けてみると、421,419円でした。

総務費 89,279円

財源内訳	国県支出金	4,827円
	市債	48,518円
	その他特定財源	1,413円
	一般財源	34,521円

民生費 89,798円

財源内訳	国県支出金	27,372円
	市債	245円
	その他特定財源	3,695円
	一般財源	58,486円

衛生費 36,066円

財源内訳	国県支出金	3,615円
	市債	0円
	その他特定財源	1,644円
	一般財源	30,807円

農林水産業費 10,979円

財源内訳	国県支出金	2,792円
	市債	1,818円
	その他特定財源	229円
	一般財源	6,140円

商工費 25,936円

財源内訳	国県支出金	2,103円
	市債	2,957円
	その他特定財源	2,293円
	一般財源	18,583円

土木費 35,167円

財源内訳	国県支出金	7,758円
	市債	5,242円
	その他特定財源	2,225円
	一般財源	19,942円

教育費 52,584円

財源内訳	国県支出金	15,013円
	市債	1,555円
	その他特定財源	681円
	一般財源	35,335円

公債費 59,365円

財源内訳	国県支出金	0円
	市債	0円
	その他特定財源	2,214円
	一般財源	57,151円

そのほか 22,245円

財源内訳	国県支出金	406円
	市債	522円
	その他特定財源	14円
	一般財源	21,303円

※平成19年3月31日現在、住民基本台帳94,764人で計算しています。

一般会計及び特別会計決算額

	歳入	歳出	差引額
一般会計	424億6,793万円	399億3,537万円	25億3,256万円
特別会計			
国民健康保険事業	99億2,519万円	97億3,775万円	1億8,744万円
老人保健事業	93億9,953万円	92億2,233万円	1億7,720万円
介護保険事業	43億9,531万円	42億2,248万円	1億7,283万円
診療所事業	1億3,682万円	1億1,919万円	1,763万円
自家用有償バス事業	1億3,002万円	1億2,128万円	874万円
公設卸売市場事業	2,737万円	2,667万円	70万円
温泉事業	8,637万円	7,977万円	660万円
銅山観光事業	9,233万円	7,571万円	1,662万円
下水道事業	35億7,986万円	33億9,222万円	1億8,764万円
公共用地先行取得事業	1,559万円	1,559万円	0万円
計	702億5,632万円	669億4,836万円	33億 796万円

水道事業会計決算額

	収入	支出	差引額
収益的収支	23億4,602万円	21億4,474万円	2億 128万円
資本的収支	11億1,156万円	18億6,419万円	△7億5,263万円

リフト事業会計決算額

	収入	支出	差引額
収益的収支	7,848万円	8,460万円	△612万円
資本的収支	1,257万円	1,066万円	191万円

収益的収支…事業運営を目的とした収入と支出
資本的収支…施設整備を目的とした収入と支出
※△はマイナス、すべて消費税込みの金額

◆ **一般会計** ◆
平成18年度の一般会計の決算額は、歳入が424億6,793万円(前年度比14.8%減)、歳出が399億3,537万円(前年度比17.2%減)でした。差引額の25億3,256万円は平成19年度へ繰り越したとなります。なお、平成18年度に財政調整基金から一般会計へ13億9,779万円を繰り入れましたが、平成19年度の補正予算で、ほぼ同額を基金へ戻しました。
歳入のうち、市税など市の自主的な収入である自主財源は214億9,155万円(50.6%)、国や県から交付される地方交付税や国庫支出金、市債などの依存財源は209億7,638万円(49.4%)でした。
歳出は、民生費が85億9,622万円(21.3%)と一番多く、次いで総務費が84億6,046万円(21.2%)、公債費が56億2,564万円(14.1%)、教育費が49億8,309万円(12.5%)の順となりました。
◆ **特別会計** ◆
平成18年度の特別会計の決算額は、歳入が27億8,839万円(前年度比1.6%減)、歳出が20億1,299万円(前年度比5.7%減)でした。差引額の7億7,540万円は平成19年度へ繰り越したとなります。
◆ **水道事業会計** ◆
平成18年度の収益的収支(事業運

くわしくは
一般会計と特別会計については
財政課 ☎(21)5162
水道事業会計については
水道課 ☎(21)4532
リフト事業会計については
リフト事業所 ☎(53)0525

営を目的とした収入と支出における収益的収入は22億3,662万円(消費税抜き)で、収益的支出は20億8,840万円(消費税抜き)で、差し引き1億4,822万円の純利益となりました。この純利益は、減債積立金と利益積立金、建設改良積立金に積み立てます。
資本的収支(施設整備を目的とした収入と支出)における資本的収入は11億1,156万円(消費税込み)で、資本的支出は18億6,419万円(消費税込み)でした。差し引き7億5,263万円の不足は、建設改良積立金などで補てんしました。
◆ **リフト事業会計** ◆
平成18年度の事業総収益(リフト使用料などは7,848万円)でした。総費用(リフト管理費などは8,460万円)でしたので、総収益から総費用を差し引いて、612万円のマイナスとなりました。